



Nutriculture® 28-8-18 Bent Special(ベントスペシャル)

Safety Data Sheet Revision Date: 1/31/2019

In accordance with 29CFR § 1910.1200 (g); (OSHA HCS 2012) (GHS-US)

セクション 1: 物質/混合物および会社の識別

製品識別子

Nutriculture® 28-8-18 Bent Special

次のバリエーションが含まれます: 「PLUS - 微量栄養素プラス」、または次の任意の組み合わせ: 「NB - ホウ素なし」、「NI - 鉄なし」、「染料なし」
その他の識別手段: なし

製品の用途: 肥料

責任者の氏名、住所、電話番号 工場: Plant Marvel Laboratories, Inc.

371 East 16th Street Chicago Heights, IL 60411 (708) 757-7500 (オフィス) (708) 757-5224 (ファックス)

緊急電話番号

米国およびカナダ (輸送緊急): 800-535-5053 (InfoTrac、24 時間)

米国およびカナダ (医療緊急): 800-752-7869 (InfoTrac、24 時間)

国際緊急電話番号: +1-352-323-3500 (InfoTrac、24 時間)

セクション 2: 危険有害性の識別

物質/混合物の分類 分類: 重篤な眼の損傷; 1 急性毒性、経口; 4 皮膚刺激; 3

ラベル要素

危険ピクトグラム:



シグナルワード: 危険

危険情報: 重度の眼損傷を引き起こす。飲み込むと有害。

注意文: 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

取り扱い後は手をよく洗う。この製品を使用するときは、飲食や喫煙をしない。

目に入った場合: 数分間水で注意深くすすぐ。コンタクトレンズを着用していて外しやすい場合は外す。すすぎ続ける。直ちに中毒センターまたは医師に連絡してください。

飲み込んだ場合: 気分が悪くなった場合は中毒センターまたは医師に連絡してください。

口をすすいでください。内容物と容器は、地方、地域、国、および国際規制に従って処分してください。

分類に寄与しない危険: 製品は濡れると表面が滑りやすくなる場合があります。

セクション 3: 組成/成分に関する情報

混合物の組成

化学名	CAS 番号	濃度 (w/w)*
尿素	57-13-6	48% - 54%
硝酸カリウム	7757-79-1	32% - 39%
リン酸一カリウム	7778-77-0	<10

その他の成分: サプライヤーの知る限り、この製品の危険性に寄与すると考えられる、関連するカットオフ値を超える濃度で存在する追加成分はありません。

*企業秘密とみなされる成分の正確な濃度は、29CFR § 1910.1200 (i) に従って非公開にされる場合があります。

セクション 4: 応急処置

応急処置の説明

目に入った場合 まぶたを開いたまま、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間目を洗い流してください。

コンタクト レンズがないか確認し、外してください。直ちに医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合 水で口から吐き出してください。物質を飲み込んでしまった場合で、被災者に意識がある場合は、少量の水を飲ませてください。医療従事者から指示がない限り、嘔吐を誘発しないでください。

被災者は気分が悪くなった場合は、医師の診察を受けてください。

吸入暴露した人を新鮮な空気のある場所に移動して暴露した人は気分が悪い場合は、医師の診察を受けてください。

皮膚接触 汚染された衣服を脱いでください。影響を受けた部分を少なくとも 15 分間水で洗い流してください。皮膚の炎症が起こったり持続したりする場合は、医師の診察を受けてください。

最も重要な症状と影響

目に入った場合 深刻な目の損傷を引き起こします。症状には、目の痛み、涙目、赤みが含まれます。

摂取 飲み込むと有害です。口、喉、胃に火傷を引き起こす可能性があり胃痛を引き起こす可能性があります。

吸入 吸入した粉塵は呼吸器官の炎症を引き起こす可能性があります。

皮膚接触 皮膚の炎症を引き起こす可能性があります。

遅発性症状: 知られていません。

直ちに医師の診察を受け、特別な治療が必要な兆候

暴露または懸念がある場合は、医師の診察を受けてください。医師は症状に応じて治療する必要があります。

セクション 5: 消火対策

消火剤

適切な消火剤: 大量の水。不適切な消火剤: 粉末消火剤、二酸化炭素、または泡。

物質から生じる特定の危険

熱分解生成物には、窒素酸化物、炭素酸化物、およびアンモニアが含まれます。火災では有毒ガスまたは腐食性ガスが発生する可能性があります。

消防士の保護具と予防措置

保護具: 自給式呼吸器 (SCBA) を備えた完全出動服。

特別な予防措置: 火災の風上に立ちます。燃烧物質からの粉塵や煙を吸い込まないでください。

蒸気や砂で火を消そうとしないでください。熔融物質に水を噴霧すると、飛び散る場合があります。

セクション 6: 偶発的な漏出対策

人体に対する予防措置、保護具、および緊急手順

一般的な予防措置: 適切な産業衛生慣行に従って取り扱ってください。粉塵を吸い込まないでください。

目、皮膚、衣服に触れないようにしてください。こぼれた製品は、濡れると表面が滑りやすくなります。

緊急時以外の人員向け

保護具: 耐薬品性手袋、目の保護具、および呼吸保護具 (粉塵が付着している場合)。

緊急手順: 不必要な人員を避難させます。こぼれた物質の上を歩かず必要に応じて換気してください。

緊急時要員向け

保護具: 耐薬品性手袋、目の保護具、および呼吸保護具 (粉塵が付着している場合)。

緊急手順: 不必要な人員を避難させます。こぼれた物質の上を歩かない。必要に応じて換気してください。

環境に対する予防措置

物質が水路、下水道、または排水溝に流れ込まないように注意してください。

封じ込めおよび清掃方法

こぼれた物質は直ちに清掃してください。流出物が排水溝や水路に流れ込まないように堤防で封じ込めてください。流出物は適切な容器にすくい取るかシャベルで集めてください。乾燥した状態で掃き掃除をすると粉塵が発生してしまいます。内容物と容器は、地方、地域、国、および国際規制に従って処分してください。汚染されていない流出した乾燥物質および溶液は、パッケージの指示に従って、肥料として植物や土地に散布することができます。

セクション 7: 取り扱いと保管

安全な取り扱いのための注意事項

保護眼鏡/保護面を着用してください。取り扱い後は手をよく洗ってください。この製品を使用するときは、飲食や喫煙をしないでください。粉塵が発生した場合は、呼吸保護具を着用してください。

安全な保管条件

涼しく乾燥した換気の良い場所に保管してください。使用していないときは、容器をしっかりと閉めてください。可燃性物質や不適合物質から遠ざけてください。

不適合物質

可燃性物質、還元物質、有機物質、強酸、強塩基、ハロゲン、塩素、塩素化合物、および過酸化水素。

セクション 8: 暴露管理/個人保護

職業暴露限界

成分	OSHA – PEL	ACGIH - TLV
尿素	未設定	未設定
硝酸カリウム	未設定	未設定
リン酸一カリウム	未設定	未設定

適切な工学的管理

ユーザーの操作により粉塵、煙、ガス、蒸気、またはミストが発生する場合は、作業者の暴露を最小限に抑えるために適切な換気制御を実施してください。

個人用保護具 (PPE)

取り扱い中は常に化学ゴーグル、耐薬品性手袋、防護服を着用してください。粉塵、煙、ガス、蒸気、またはミストが発生する場合、または十分な換気が利用できない場合は、危険性と作業に適した呼吸保護具を着用してください。

その他の考慮事項

この製品を取り扱う場所の近くに洗眼ステーションを設置することをお勧めします。

セクション 9: 物理的および化学的性質

外観

物理的状态:	固体
外観:	粉末および粒状顆粒
色:	淡い青から濃い青
臭い:	軽度から中程度の臭い
臭い閾値:	不明
pH:	4.0 – 6.0 (5% 水溶液)
融点/凝固点:	不明
沸点/範囲:	不明
引火点:	不明
蒸発速度:	不明
可燃性:	不明
可燃限界:	不明
蒸気圧:	不明
蒸気密度:	不明

相対密度:	不明
溶解性:	水に可溶
分配係数:	不明
自然発火温度:	不明
分解温度:	不明
粘度:	不明

セクション 10: 安定性および反応性

反応性

適切に取り扱い、保管すれば、危険な反応は起こりません。

化学的安定性

通常の保管および温度条件下では安定しています。加熱すると分解します。

危険な反応の可能性

危険な重合は起こりません。

避けるべき条件

極端な温度、裸火、可燃性物質および不適合物質。

不適合物質

可燃性物質、還元物質、有機物質、強酸、強塩基、ハロゲン、塩素、塩素化合物、過酸 化水素。

危険な分解生成物

熱分解生成物には、窒素酸化物、炭素酸化物、およびアンモニアが含まれます。

セクション 11: 毒性情報

考えられる暴露経路

目への接触、皮膚への接触、粉塵の吸入が、最も考えられる暴露経路です。通常の製品使用では、摂取は考えられる暴露経路ではないと予想されます。

物理的、化学的、毒性学的特性に関連する症状

深刻な目の損傷を引き起こします。飲み込むと有害です。粉塵を吸入すると、呼吸器官に炎症を起こすことがあります。皮膚に炎症を起こす可能性があります。短期または長期の暴露による遅延、慢性の影響は知られていません。

毒性の数値的尺度

尿素	タイプ	経路	種	結果
	知ってされていません			
硝酸カリウム	LD50	ラット	経口	>2000mg/kg
	LC50	ラット	吸入	>0.527mg/L (4 時間)*
	LD50	ラット	経皮	>5000mg/kg
リン酸一カリウム	LD50	ラット	経口	7,100mg/kg
	LD50	ウサギ	経皮	>7940mg/kg

*達成可能な最大濃度。

発がん性

成分	NTP1	IARC2	OSHA3
尿素	なし	なし	なし
硝酸カリウム	なし	なし	なし
リン酸一カリウム	なし	なし	なし

1. 国立毒性学プログラム (NTP) 発がん性物質に関する報告書
2. 国際がん研究機関 (IARC) モノグラフ
3. 米国労働安全衛生局 (OSHA)

セクション 12: 環境情報

	尿素	硝酸カリウム	リン酸一カリウム
水生毒性	分類なし	96 時間 LC50 1378mg/L 淡水魚 48 時間 EC50 490mg/L 淡水ノミ 10 日 EC50 >1700mg/L 数種の藻類	分類なし
残留性と分解性	未確定	生分解性	未確定
生体蓄積性			
BCF	利用不可	利用不可	利用不可
Log Pow	利用不可	利用不可	利用不可
潜在性	利用不可	低	利用不可
土壤中の移動性	利用不可	低	水溶性

その他の悪影響

環境に放出された大量の肥料は、水域が汚染されている場合、植物や魚を死滅させ、藻類の大量発生を引き起こす可能性があります。

セクション 13: 廃棄に関する考慮事項

廃棄物処理の推奨事項

内容物と容器は、地方、地域、国、および国際規制に従って廃棄してください。

こぼれた汚染されていない乾燥物質および溶液は、パッケージの指示に従って、植物または土地に肥料として散布できます。物質が水路、下水道、または排水溝に流れ込まないように注意してください。

セクション 14: 輸送情報

UN 番号: この製品は、輸送目的では危険物とは見なされません。

セクション 15: 規制情報

米国連邦規制

この混合物の一部の成分は、さまざまな規制および報告要件の対象となる場合があります。以下にリストされている成分の規制状況は、この SDS のセクション 2 に記載されているこの混合物の危険分類には影響しません。

	尿素	硝酸カリウム	リン酸一カリウム
TSCA インベントリー	記載済み	記載済み	記載済み
SARA 302/304	記載なし	記載なし	記載なし
SARA 311/312	記載なし	火災危険性	記載なし

欧州連合 (EU) REACH 登録

この製品には、規則 (EC) No 1907/2006 (「REACH」) の第 20 条 (2) に従って EU への輸出用に登録された以下の物質が含まれています:

物質名	物質 EC 番号	REACH 登録番号
尿素	200-315-5	01-2119463277-33-0215
硝酸カリウム	231-818-8	01-2119488224-35-0074
リン酸一カリウム	231-913-4	01-2119490224-41-0075

セクション 16: その他の情報

作成/改訂日: 2019 年 1 月 31 日

注: この安全データシートに記載されている情報は、発行日時点での当社の知識と信念に基づいて正確です。ここに記載されている情報は、材料の安全な取り扱い、使用、保管、輸送、廃棄に関するガイダンスとしてのみ提供されています。この情報に基づいて、明示的または黙示的な保証は一切行われません。